

関係者各位

スーパー耐久シリーズ Rd. 6 OKAYAMA 戦レース報告



10月26日～28日、スーパー耐久2024 Rd. 6 OKAYAMA 3時間レースが開催され、8クラス56台が参加し、TEAM ZEROONEからは25号車26号車の2台が参加した。日産メカニックチャレンジの活動としては、日産京都自動車大学の学生が11名、日産販売会社のテクニカルスタッフ(TS)は6名参加し、レースに携わった。

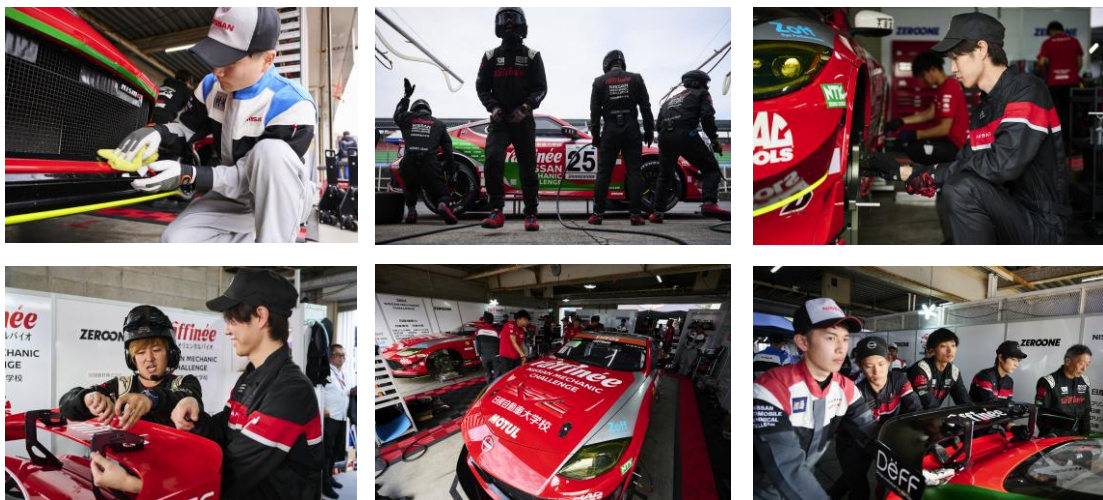
■予選

10/26日(土) コースコンディション：ドライ

今大会もAドライバーとBドライバーの合計タイムで予選順位が決まるタイム合算方式の予選となった。25号車は植松選手、26号車は大塚選手が担当し、Aドライバー予選が始まった。植松選手は、1, 37. 884 を記録。大塚選手は、1, 37. 112 を記録。Bドライバー予選では、松田選手が1, 36. 908 を記録し、クラス10番手。26号車は、富田選手は1, 36. 600 を記録し、3番手からのスタートとなった。

■決勝(3時間レース)

今大会は3時間×2レースというレースフォーマットという事で、ST-Zクラスは後半Gr. 2での出走となった。午後1時30分にスタートが切られると、スタートドライバーの松田選手、富田選手共に順調にスタートを切り、ポジションをキープしたまま走行を重ねる。47Lapのところで26号車は富田選手から大塚選手にドライバー交代。そして、ライバルマシンが続々と最初のピットインを済ませたところで、25号車も最初のピットイン。松田選手から植松選手にドライバー交代。このタイミングで天候が悪くなり、雨が降り出した影響で、26号車はウェットタイヤに交換。その後雨は弱まったため、26号車は再度ピットインしドライタイヤに交換。大きくタイムロスをする事になった。一方25号車は着実に追い上げを試み、植松選手から佐藤選手にドライバー交代。素早いピット作業により、ポジションアップに成功し5番手でフィニッシュ。26号車は大塚選手から篠原選手にドライバー交代し、追い上げるものの11番手でフィニッシュ。レース後の車検で2位のマシンが不合格となってしまったため順位が繰り上がり、25号車は4位、26号車は10位という結果となった。



■日産メカニックチャレンジ活動

1. ピット活動



2. チームドライバーとの交流会

レースウィーク 10/24(木) に日産校学生と日産販売店メカニック(TS)が 25 号車、26 号車のドライバー5 人と交流会を行った。「ルーティーンや勝負飯はあるか?」「愛車について知りたい」などの質問が挙がったほか、カートをしている学生や TS が多くおり、サーキットでの上手な走り方についてなどの話題で盛り上がった。

3. マックメカニクスツールズ特別講習

4. 他チーム見学：TEAM IMPUL

TEAM IMPUL のゼネラルマネージャー 富永さんが TS 6 名と学生 11 名を案内してくださった。ピットの中やレース前の車両のボンネットを開けてくださり、TS と学生一同真剣に見学していた。また質問もいくつか上がり、近くにいたエンジニアの方も一緒に回答してくださった。最後に星野 一樹監督、田中 優暉選手、平峰 一貴選手、大木 一輝選手が学生と TS のために集まって下さり、写真撮影をして頂いた。



5. ブリヂストンサービスチーム見学

10/25(金) にモータースポーツオペレーション課の小原さんに案内頂いた。サーキットでのお仕事の様子を実際に間近で見せて頂き、TSと学生も熱心にお話を聞いていた。質問コーナーでは「市販車のタイヤとレースのタイヤの特徴の違いについて」や「レース中のタイヤの温度について」等、TSならではの質問も上がっていた。



■ゲストエリア

■次戦へ向けて

次戦はいよいよ2024シーズンを締めくくるRd.7富士戦。国内で2台のNissan Z NISMO GT4を走らせる唯一のチームとして、最終戦こそ2台揃って上位を目指し、表彰台を獲得したい。

以上
TEAM ZEROONE